

# 北里柴三郎先生の恩師 ローベルト・コッホ博士のご命日

5月27日(土)は、北里柴三郎先生の  
恩師ローベルト・コッホ  
博士のご命日です。

67歳で生涯をとじられてから、  
今年で、没後107年になります。



コッホ博士 来日時 1908(明治41)年  
「厳島神社でのコッホ博士と北里」

今から 132 年前、1885 年、当時、内務省衛生局に奉職していた北里先生は、ドイツ留学の辞令を受けて、1886 年からの 6 年間、コッホ博士の研究室で細菌学者としての研鑽を積み、免疫に関する基礎を学び、多くの業績を挙げました。

留学最後の 1 年間は、結核の治療法に関する研究を行いました。北里先生は、自らの研究の成果は全て、コッホ博士の指導の賜物であると生涯、尊敬の念を抱いておりました。



1910 年 5 月 27 日、コッホ博士の訃報を受けた、北里先生は、5 月 31 日、国立伝染病研究所(白金台、現在の東京大学医科学研究所)遺品室にて職員一同で追悼式を挙行了しました。その後、北里先生は、その構内にコッホ祠の建立を計画され、1911 年 5 月 24 日、コッホ祠堂を建立しました。その年の 5 月 27 日には、没後 1 年祭を挙行し恩師を偲びました。

1914 年 11 月 5 日、北里先生は、国立伝染病研究所所長を辞任し、新たに北里研究所を創設した折に、コッホ祠堂を「恩師の霊を国立伝染病研究所にそのままにして置くには偲びない」と北里研究所竣工の年、1915 年、コッホ祠堂を北里研究所(白金)構内に移しました。それ以後、北里研究所の守護神として毎年コッホ博士の命日には、社前で祭典が執り行われました。現在も、北里研究所は、コッホ博士の命日には「献花式」を行っています。



コッホ祠(国立伝染病研究所構内)  
1911(明治44)年5月建立当時

【発行日】 2017 年 5 月 26 日

【発行・編集】 学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室 〒108-8641 東京都港区白金5丁目9番1号

TEL: 03-5791-6103 fax: 03-5791-6274 <http://www.kitasato.ac.jp/kinen-shitsu/> E-mail: [k-museum@kitasato-u.ac.jp](mailto:k-museum@kitasato-u.ac.jp)